

育 Me 科 学習指導案 「いろいろな気持ち」

○ねらい

どのような感情があるかを考え、日常生活のどのような場面か説明できる。また、感情の違いによって体の様子や、表情が異なることを知る。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入 8分	1 あいさつ 2 学習内容の理解 ・日常生活の中で、どのような気持ちがあるか、考える。 「うれしい(喜)/怒り(怒)/悲しい(哀)/楽しい(楽)」 3 本時のめあての掲示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> いろいろな気持ちと、その場面を考えよう </div>	・6月の育 Me「おこっているわたし」を振り返りながらどんな感情があるかを考えさせる。 ・児童から出た気持ちを、板書に位置付ける。	・「おかめあいさつ」を確認してから挨拶をする。できている児童を褒める。 (・6月の育 Me「おこっているわたし」でいろいろな感情にふれている。)
展開 30分	4 感情語の産出 ○少し難しい感情について考える。 ・絵①を提示し、どんな場面か、その場面ではどんな気持ちになるか考える。 [かけっこをしていて、みんなの前で転んでしまった] →はずかしい/悲しい/つらい ・絵②を提示し、どんな場面か、その場面ではどんな気持ちになるか考える。 [友達の家で自分が持っていない新しいゲームがあったよ] →うらやましい/悔しい/悲しい 5 感情が起こる場面と感情ごとの表情やしぐさの違いの理解 ○顔の表情とその場面について話す。 ・喜び…①喜びときの表情をつくる。体や声を使う。 ②どんな時にニコニコ顔になるかな? ・悲しみ ・怒り ・恐れ(不安) ・恥(恥ずかしい) } 喜びと同様に、一つ一つ話していく。 6 ゲームをする(2グループ) ・「気持ちカメラ」ルールの説明 (モデリング) ・グループでゲームをする。	・導入で出た感情以外で、どのような感情があるか、絵資料から考える。 ・児童から出た気持ちを、板書に加えて位置付ける。 ・「気持ちカード」を使って、顔の表情をつくったり、体で表現したりする。(手や、声、体を使って) ・感情表現が難しい場合は、支援者が例を出して考えさせる。	・ばいかも「上手な聞き方」を意識させる。 ・6月の育 Me「おこっているわたし」を想起させ、気もちからどんな状況があるかを話すようにする。
まとめ 7分	7 ふりかえり ・振り返りシートに書く(3分)。 ・感想を発表し、交流する。 8 あいさつ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「気持ちカメラ」ルール ① 1人が気持ちカードをひく(1枚) ② 「はいチーズ！」でひいたカードの表情をする。 ③ グループの他の人は、表情を見て気持ちを当てる。 ④ カードを引いた人は、どんな時にその気持ちになるか話す。(パスしてもいいよ) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【出口での児童の意識】 たくさんの気持ちがあり、気持ちが変わると表情やしぐさも変わることが分かり、日常生活の中で相手の気持ちを読み取ろうと思うことができる。 </div>

【準備するもの】 ・場面絵①② ・気持ちカード ・「気持ちカメラ」ルール ・振り返りシート